

第48回 安全工学シンポジウム
(安全工学シンポジウム2018)
「安全をめぐる知識・知恵の継承」

主催 日本学術会議
共催 日本機械学会、他33学協会
会期 2018年7月4日(水)5日(木)、6日(金)
会場 日本学術会議
(東京都港区六本木7-22-34)〔交通〕東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

特別講演

7月5日(木) 12:30~13:30(予定)

「「活かし」そして「つなぐ」実践的安全活動～機械安全の実践と人づくり～」
古澤 登 氏(安全と人づくりサポート 代表)

パネルディスカッション

- ・ リスクベース工学の最前線
- ・ 産官学の機械安全の取組と事例
- ・ 安全教育と人材育成について(連携PD)
- ・ 自動車の自動運転の研究開発の現状と課題

オーガナイズドセッション

1. 教育研究機関の環境安全教育
2. 組織と個人のリスクへのセンス向上手法
3. 宇宙輸送における次世代推進システム
4. 電気設備分野の安全・安心技術(仮)
5. 高齢社会の火災安全と避難計画 ー小規模福祉施設を中心としてー
6. エアバッグ安全とリコール
7. 土木工事の技術的安全性確保・向上の検討
8. 大規模物流倉庫の火災安全
9. 老朽・遺棄化学兵器廃棄の安全と環境の保全に向けて
10. 工学システムの社会安全目標の実用化に向けて
11. Safety-2: 成功事例を分析する実践的取り組み
12. 「災害発生時のリスクマネジメント」火災、地震、津波・・・防災と減災、避災を考える
13. 事故情報と安全対策～事故防止のあり方を考える
14. 若手技術者への安全・信頼性の伝承について
15. 機械安全の原点である安全確認型システムから協働システムに

一般セッション 64題程度

参加方法: 自由参加。当日直接ご来場下さい。入場無料です。
講演予稿集: 当日会場で実費頒布します(一般5,000円, 学生2,000円)
懇親会: 7月5日(木) 16:30~18:30(予定)
会費 4,000円(予定)

問合先事務局:

一般社団法人 日本機械学会
TEL: 03-5360-3505, FAX: 03-5360-3509
E-mail anzen2018@gakkai-web.net
<http://www.anzen.org/index.html>